

PCやワープロで文章を作成する機会が増えてきた昨今、クリックひとつで様々な書体を選ぶことができる「デジタルフォント」は非常に便利なものです。しかし欠点もあります。それはPC上でしか使用することができないということです。手紙を書くにしてもまずはPC起動し、ワープロで作成した上でプリンタ出力という出順をふまなくてははいけません。

私たちは多くの時間、PCと離れて生活している場合の方が多いのです。そんな人生の大部分の時間にも、このような便利なフォントを使用できればと思わないでしょうか？もちろん温かみのある手書きも大切ですが、整然とした美しいフォントは時と場合によっては必要になるものなのです。

他の場合を考えて見ましょう。例えば「停電でPCが起動できない」、「パソコンのバの字も知らない」、「旅先で手ぶらだ」、「会議中で予断を許さない」、他にも「うちのPCに素敵なフォントが入っていない」など様々な場面が想像できます。

そんなとき、こんなフォントはいかがでしょうか？身近にある四角いものを探してください。角砂糖でもサイコロ、CDケースや百科事典でも。あとは積むだけなのです。これで私たちはPCという呪縛から解き放たれ、どんな場所でも自由に「このフォント」を使用することができるのです。授業中だろうが、会議中だろうが、散歩中だろうが、無人島だろうが、逃走中だろうが、いつもよりちょっとだけ「立方体」をポケットに忍ばせるだけなのです。もちろん現地調達でも構いません。

野望はこれにとどまりません。あなたが市長になったとしましょう。そして都市計画にかかわったとき、さりげなくこんな形の公営住宅を提案しましょう。人知れずメッセージを都市に練りこむことが可能です。家族思いの方なら妻の名前や子供の名前ももちろん。記憶に(地図にも)残るダイナミックなプロポーズにも最適です。

「Build the word / anywhere you like」

